

家族同士で安否連絡

NTT災害用伝言ダイヤル

通信障害時でもつながる伝言板です。

○録音編

- ①「171」をダイヤル
- ②録音は「1」を入力
- ③自分の電話番号を入力
- ④ガイダンスに従い録音する

利用可能端末：NTT加入電話、公衆電話、携帯電話等

提供開始：地震等の災害発生時などに開始される

○再生編

- ①「171」をダイヤル
- ②再生は「2」を入力
- ③確認したい相手の電話番号入力
- ④録音された安否情報を聞く



札幌市防災アプリ「そなえ」

災害別ハザード情報、災害別避難場所情報、避難勧告や気象警報等、災害時に役立つ情報を入手できます。

インストール二次元バーコード

iOS版



Android版



日頃の準備が大切

日頃から準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておくことが大切です。

- 避難場所の確認
(大学付近および自宅周辺)
- 家族との連絡方法および待ち合わせ場所の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認
- 緊急時メモの作成・記入
- 停電時でも情報収集ができる具体的手段を準備(ラジオ等)
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 大学および友人等への連絡方法およびリスト整備



緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- 現金(小銭も)
- 学生証
- 健康保険証
- 雨具
- タオル・絆創膏・包帯
- 手回しラジオ・ライト
- ポリエチレン製ごみ袋
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- チョコレート・あめ など
- 油性マジックペン
- USB充電ケーブル(スマホ等)
- モバイルバッテリー

その他非常時に必要なアイテム

- 常備薬
- 上着・下着・靴下
- 運動靴
- リュック
- 卓上コンロ
- 懐中電灯
- ろうそく
- 缶切り・栓抜き
- 予備電池
- 非常用食料
- 水
- 洗面用具
- 貯金通帳
- 印鑑

memo

災害時対応

マニュアル

-災害にそなえて-



北海商科大学

HOKKAI SCHOOL OF COMMERCE

2024年4月発行

災害時は、大学ホームページおよび学生メールアドレスへのメールを確認!



大学の対応など情報が配信されます。

地震発生直後は裏面へ

Jアラートが鳴動したら...

地震や津波、弾道ミサイルの発射など、すぐに対処しなければならない事態が発生した際に、政府は全国瞬時警報システム(Jアラート)を使用し、緊急情報を伝達します。

〈もしも弾道ミサイル発射を伝える内容だったら...〉

- 屋外にいる場合
近くの頑丈な建物か、地下へ避難する。
- 建物がいない場合
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合
窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。



火災避難時は冷静に 火災避難のポイント

- 火災を発見したら大声で周りの人に火災を伝え、近くの非常用ベルを押す。
- 119番へ通報し、受付や事務室に連絡する。
- 火が天井に到達していなく出火から3分以内の場合、可能であれば初期消火をする。危険と感じた場合は、直ちに避難する。
- 避難時、延焼を防ぐため、燃えている部屋のドアは閉め、空気を絶ちます。
- エレベーターは使用せず、階段で避難する。
- 煙が充満している場合は、姿勢をできる限り低くし、ハンカチなどで口・鼻を覆い、煙を吸わないように避難する。
- 一度避難したら戻らないでください。



災害が発生したら

正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意。
- むやみに動かず安全を確認。
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。
(火を扱っている場合は、身の安全を確認後、火の始末)
- エレベーターは使用せず階段で避難。
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動。
- 負傷者の救護や初期消火に協力。
- 家族との安否確認。

緊急時パーソナルメモ

氏名:

学生番号:

学部:

学科:

緊急連絡先:

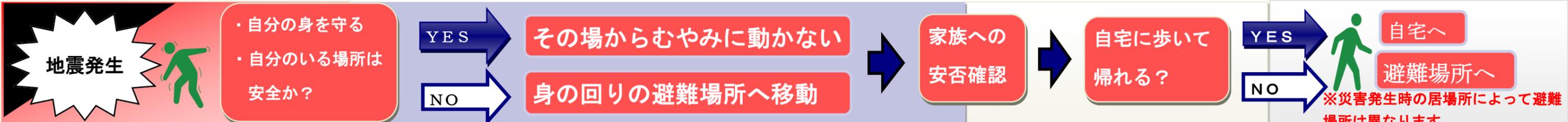
住所:

電話番号:

持病:

アレルギー:

自宅近くの避難場所:



＊ 地震発生直後 → 揺れがおさまったら → 落ち着いたら① → 落ち着いたら②

大学にいるとき

- 窓や棚など割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。
- 机の下に潜るか、カバンなどで頭を覆い、落下物から頭と手足を守る。
- 余裕があれば、ドアを開放し、出口を確保する。
- 実験中など火気を使っている時は身の安全を確保した上で、火を消す。また、薬品などから離れる。
- 広場やグラウンドなど、落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込み、揺れがおさまるのを待つ。

大学にいるとき

- **学内一時避難場所**
 - ▶ 体育館
 - **学外一時避難場所**
 - ▶ 駐車場
- 地震の程度および災害状況により一時避難場所を封鎖、変更をする場合があります。近くの教職員の指示、全館放送の指示に従ってください。
- 地面・床の亀裂や陥没・隆起に注意する。
 - 出口には、殺到せず、あわてず避難する。
 - エレベーターは使用しない。階段を利用する。
 - ドアは開放したまま避難する。ただし、火災が発生し消火不能の場合はドアを閉め避難する。
 - SNSなどで情報収集する際は、デマに惑わされないようにする。
 - 停電した場合、誘導灯を目印に避難する。



構内避難マップ



通学・通勤中のとき

- 周辺の状況に注意し、身の安全を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- 電車、バスに乗車中の場合は、窓やガラスから離れポールなどにつかまり衝撃に備え、係員の指示に従う。
- 車に乗っている時は、一旦左側に寄せ、ラジオ等で情報を入手し、徒歩で避難する。

通学・通勤中のとき

- 避難中は警察や消防の指示に従う。

こんなときはどうする？

- エレベーターの中にいるとき
 - 直ちに各階のボタンをすべて押し、最寄りの階で降りる。
 - 万一、停電などで閉じ込められた場合は、「非常用呼び出しボタン」等で救助をもとめる。



【豆知識】公衆電話の活用

公衆電話は、電話回線が混雑している際にも通信規制がかかることなく使用できますので、災害・緊急時には有効な通信手段となります。

本学敷地内には設置されておきませんが、あらかじめ公衆電話の操作方法や大学・自宅周辺の設置場所を確認してください。



災害に備えて知っておこう！

- 災害時には、スマートフォンやPCが使えなくなるかもしれません。インターネットが使えない場合も想定し、準備しておきましょう。
- **自宅の備え**
日頃から防災グッズなどを揃えたり、棚などの転倒防止対策をするなど、事前に備えましょう。
 - **家族と事前に確認**
大地震が起きたときに、どのような行動をとるか、集合場所などを家族と確認しておきましょう。
 - **災害時の避難場所の確認**
災害が起きたときに、地域ごとに避難場所が設置されます。事前に自分が住んでいる地域の避難場所を市町村のホームページなどを通じ、確認しておきましょう。
 - **大学からの連絡について**
地震や大災害発生時には、臨時休講になる場合があります。大学ホームページや学生メールアドレスへのメールを確認しましょう。

北海商科大学

〒062-8607
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番